



地域連携室です。

運の種まき

平成18年の春、ちょっとしたことから私の人生は大きく変わりました。病院と自宅を往復し、患者さんを診て、外来をやり、手術をして救急当番をこなし、宿直をやっていた生活が一変しました。

公民館を中心に脳卒中予防の講演活動がはじまったのです。平成19年には愛媛新聞社から本を上梓しました。そして平成20年4月から南海放送のラジオ番組を持つこととなります。こうして土曜は講演活動、日曜はラジオと仕事が増えていきました。

医療活動以外の仕事はとっても新鮮でやりがいのあるものでした。当初は準備に多くの時間を費やし、しゃべる練習も何度もやりました。講演ではビデオ撮影をお願いし、ラジオは録音し、何度も見たり聴いたりしては反省し、うまく伝えられるように訓練しました。

大きく変わったのは『頼まれたことは引き受けよう』と考えを新たにしたこと。それまでは面倒だから、仕事に差し支えそうだからと断ることが多かったのですが、せっかく私に話を持って来てくれたのだから、なんとかやってみようと思うようになりました。

そして運の種まきをはじめました。断らないで、とにかく引き受けて多くの種を蒔いておこうと考えるようになりました。

運命は、待っている所へ来るのではなくて、運命を受け入れるところへ、ひょっこりと現れるように思います。そしてそのせっかく自分のところへ降ってきた運命も、それを受け止める器を持っていなければ、自分のものにできません。

運がいいと思われる人は、よく人の話を聴き、見聞を広め、面倒がらずに、こちらから出向いてしっかり行動するものだと思います。こうやって、本人もわからない内に、偶然のように運の種をせっせと蒔いているのだと思います。

福角病院 副院長
脳神経外科 角南典生



胸椎や腰椎の圧迫骨折について

骨粗鬆症などで骨が弱くなっている場合など、軽微な外力でも起こることがあります。押しつぶされるように折れる状態で、ご高齢の方に多く見られます。

動く度に強く痛みはありますが、特に手術や治療が必要な状態ではないために、コルセットを着用したり痛み止めで対応したりして、入院することなく過ごされる場合が多いと思います。

回復期リハビリテーション病棟入院の対象疾患ですので、いつでもご相談ください。

痛みに対応しながら早期にリハビリを開始することで、早期に回復に向かうことが可能になります。

そして、もとの生活が速やかに再開できるよう調整させていただきます。

【回復期リハビリテーション病棟から】

【入退院状況 ～ H30.12月末現在 ～ 】

- ①退院許可から当院転院までの平均日数（過去3か月間）… **4.9日**
- ②在宅復帰率（過去半年間）…………… **80%**
- ③疾患別割合（12月）…… 脳血管 **52%**
運動器 **38%**
廃用症候群 **6%**

☆診療情報提供書を確認させて頂きましたら、医師等と受け入れについて速やかに検討し、お返事をさせていただきます。

～在宅サービスのご紹介～

【小規模多機能型居宅介護】

社会福祉法人 安寿会

小規模多機能型居宅介護

家庭的な環境で、地域との交流や参加を図りつつ、住み慣れた地域での生活を維持することができるよう支援します。

登録定員24名（ふくすみ29名）
通いサービス 12名/日
（ふくすみ15名）
宿泊サービス 9名/日
訪問サービス何度でも/日

24時間365日
切れ目なく
暮らしを支えます。

ケアマネ

ご利用者

訪問

小規模多機能型居宅介護

通い

泊まり

通い・宿泊・訪問
を組み合わせ
て臨機応変に
サービスを提供します。



和気	和気町1丁目685	960-4677
ふくすみ	福角町甲616-1	911-8881
こうの	河野別府179-1	993-2920
難波	中通甲898-1	960-2811
あわい	小川甲214-1	994-7787



『本年も宜しく
お願い申し上げます。』

相談員：辻中聡美・正木新太郎・松本詩織（回復期リハビリ病棟）
和田千佳（医療療養病棟）

看護師：三井稲子・上岡かよ子

ケアマネ：平田美穂子（居宅介護支援事業所『福角の里』兼務）

理学療法士：川口有里子（訪問看護ステーション『福角』兼務）

代表：黒河文博

☎地域連携室 089 (978) 7756 ※Fax 兼用